

2022年6月13日

各位

会社名 株式会社ハピネット
代表者名 代表取締役社長 榎本 誠一
(コード番号 7552 東証プライム)
本件問合せ先 取締役執行役員経営企画室長
石丸 裕之
電話番号 03-3847-0410

カンヌ国際映画祭 カメラドール 特別表彰

映画『PLAN 75』

2022年6月17日(金)全国公開のお知らせ

株式会社ハピネット(本社:東京都台東区、代表取締役社長:榎本誠一)の子会社である株式会社ハピネットファントム・スタジオ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:小西啓介)の自社幹事作品である映画『PLAN 75』が6月17日(金)より全国順次公開します。ぜひ映画館に足をお運びください。

本年度カンヌ国際映画祭「ある視点」部門正式出品 カメラドール 特別表彰

■ 作品紹介

本年度カンヌ国際映画祭 カメラドール特別表彰

75歳以上が自らの生死を選択できる<プラン 75>。

この架空の制度を媒介に、「生きる」という究極のテーマを
全世代に問いかける衝撃作が誕生した。

脚本・監督は、本作が長編初監督作品ながら、2022年カンヌ国際映画祭オフィシャルセレクション「ある視点」部門への正式出品、カメラドール特別表彰授与という快挙を成し遂げた早川千絵。「経済的合理性を優先し、人の痛みへの想像力を欠く昨今の社会に対する憤りに突き動かされて生まれた映画です。倍賞千恵子さん演じるミチという女性の姿を通して、人が生きることを全肯定する。そんな映画にしたい」と、是枝裕和監督が初めて総合監修を務めたオムニバス映画『十年 Ten Years Japan』の一篇『PLAN75』を再構築、キャストを一新し、長編映画化した。主人公・角谷(かくだに)ミチを演じるのは倍賞千恵子。<プラン 75>に携わる側には磯村勇斗、河合優実を配し、他にたかお鷹やステファニー・アリアン、大方斐紗子、串田和美らが顔を揃えた。超高齢化社会に対応すべく75歳以上が自ら生死を選択できる制度<プラン 75>が施行され、その制度に大きく翻弄される人々の姿を描いた衝撃作。





■ストーリー

少子高齢化が一層進んだ近い将来の日本。満 75 歳から生死の選択権を与える制度〈プラン 75〉が国会で可決・施行された。様々な物議を醸していたが、超高齢化問題の解決策として、世間はすっかり受け入れムードとなる。

夫と死別してひとりで慎ましく暮らす、角谷ミチ(倍賞千恵子)は 78 歳。ある日、高齢を理由にホテルの客室清掃の仕事を突然解雇される。住む場所をも失いそうになった彼女は〈プラン 75〉の申請を検討し始める。一方、市役所の〈プラン 75〉の申請窓口で働くヒロム(磯村勇斗)、死を選んだお年寄りに“その日”が来る直前までサポートするコールセンタースタッフの瑠子(河合優実)は、このシステムの存在に強い疑問を抱いていく。また、フィリピンから単身来日した介護職のマリア(ステファニー・アリアン)は幼い娘の手術費用を稼ぐため、より高給の〈プラン 75〉関連施設に転職。利用者の遺品処理など、複雑な思いを抱えて作業に勤しむ日々を送る。

果たして、〈プラン 75〉に翻弄される人々が行き着く先で見出した答えとは――。

■作品概要

倍賞千恵子

磯村勇斗 たかお鷹 河合優実 ステファニー・アリアン 大方斐紗子 串田和美

脚本・監督:早川千絵

脚本協力: Jason Gray

エグゼクティブ・プロデューサー:小西啓介 水野詠子 國實瑞恵 石垣裕之 Frédéric Corvez Wilfredo C. Manalang

プロデューサー:水野詠子 Jason Gray Frédéric Corvez Maéva Savinien

企画・制作:ローデッド・フィルムズ

製作:ハピネットファントム・スタジオ ローデッド・フィルムズ 鈍牛倶楽部 WOWOW Urban Factory Fusee

配給・宣伝:ハピネットファントム・スタジオ

©2022『PLAN 75』製作委員会/Urban Factory/Fusee

詳細情報につきましては、下記の公式 HP・SNS をご確認ください。

公式 HP : <https://happinet-phantom.com/plan75/>

公式 Twitter : @PLAN75movie #PLAN75

6 月 17 日(金)より新宿ピカデリーほか全国公開

